

日本と中国の初会の習慣

First Meeting in Japan and China

リ・アイリン Irene Li

82-271: Intermediate Japanese I

この作文では、日本文化と中国文化の比較について書こうと思う。日本人はファーストネームより姓で呼ぶことが多い。日本では、目上の方は目下の方をファーストネームで呼ぶ。でも、目下の方は目上の方をファーストネームで呼ぶのは、とても失礼だそうだ。そして、日本人は、話し方は場合によって違って、時々敬語を使う。次に、日本人は、会話中に、よくあいづちをうつ。あいづちは、相手の話をよく聞いているというサインだ。それから、日本人は名刺を交換することが好きだ。社会人は、いつも名刺を持っておく。中国の習慣はちょっと異なると思う。まず、中国人はファーストネームでも姓でもよく呼ぶ。目上の方を姓で呼ぶが、同輩をファーストネームやフルネームで読んでもいい。第二に、中国語にも敬語がある。でも、中国人は日本人ほど敬語を頻繁に使わない。第三に、日本人と同じく、中国人もよくあいづちを使う。最後に、中国人は、名刺を使うけれど、日本人ほど使わない。私の意見では、中国が日本人ほど姓で呼ばない原因は、中国の姓は重複が多いからだと思う。例えば、私の中学のクラスに、姓が「李」の学生は三人いた。全員を「李さん」と姓で呼ぶのは、とても不便だったそうだ。ほかの習慣が類似している原因は、中国は日本に近くて、文化もよく似ているか

らかもしれない。結論として、日本と中国は同じ習慣があるけれど、微細な区別もあると考える。

日本と中国の挨拶の習慣

Greeting Habits in Japan and China

リ・アイリン Irene Li

82-271 : Intermediate Japanese I

この作文では、日本と中国のあいさつの習慣の比較について書こうと思う。まず、日本人はあいさつの後で、よく天気の話をするそうだ。例えば、「今日はいいお天気ですね」とか「今日は寒いですね」と言う。次に、日本人はエレベーターで一緒になった時など、知っている人にあいさつをするけど、知らない人にあいさつをしないそうだ。第三に、日本語には英語にはない決まり文句になったあいさつ言葉がある。そういう時に何と言ったらよいか覚えるのが大事な社会教育である。中国のあいさつの習慣はちょっと異なると思う。まず、人と会った時に、中国人も天気の話をするけど、食べ物や仕事や勉強などいろいろなことの話をする。その中で、食べ物のお話が一番人気がある。第二に、日本と同じく、中国ではエレベーターで一緒になった時など、知っている人にしかあいさつをしない。最後に、中国語には大部分の日本語の決まり文句になったあいさつ言葉に当たる言葉がある。でも、中国人は日本人ほど頻繁に使わない。中国の社会では、決まり文句の使い方もあまり重視しない。私の意見では、中国人より日本人のほうがよくお天気を気にする。原因は、日本人はとても天気を気にするが、中国人はすごく食事が好きだからだと思う。そして、二番では、中国の文化と日本の文化は

類似している。それは欧米人より、中国人と日本人のほうが照れ屋だからかもしれない。例えば、私はアメリカに初めて来た時に、知らないアメリカ人にあいさつをしてもらって、びっくりして何も言えなかった。結論として、あいさつ言葉の習慣は事実上国民の好きなことと性格の体現だから、国によって違うと考える。

日本と中国の依頼する時の習慣

Making a Request in Japan and China

リ・アイリン Irene Li

82-271 : Intermediate Japanese I

この作文では、日本人と中国人の依頼をする時の習慣の比較について書こうと思う。まず、依頼をする時に、日本人はためらいがちに、文を途中までしか言わないそうだ。第二に、日本人は、依頼をする時に、困っている状況だけを説明して、相手に依頼の内容を察してもらおう。例えば、会話1で、ベーカーさんは三田先生にお願いする時に、「日本語の試験の日に、ほかの試験が二つもあって」としか言わなかった。最後に、日本語では依頼表現には可能否定形がよく使われる。例の一つは、「推薦状を書いていただけないでしょうか」だ。中国人は、依頼表現はちょっと違うと思う。まず、中国では依頼をする時に、文を途中までしか言わない人もいるが、ほとんどそうしない。第二に、中国人は依頼をする時に、困っている状況も依頼の内容も説明する。例えば、中国人はいつもたくさんあいさつの話をした後で、困っている状況と依頼の内容を説明する。家族ととても親しい友達にだけ単刀直入にお願いする。最後に、日本語と同じく、中国語でも依頼表現には可能否定形がよく使われる。私の意見では、日本語と中国語の依頼表現はちょっと違うけれども、どちらも婉曲な表現だ。例えば、この夏休みに、私の

母は友達に依頼する時に、仕事や生活などいろいろなことについての話をした後で、お願いした。単刀直入に依頼するのは中国でも日本でも失礼だそう。それは、中国人も日本人も照れ屋だからかもしれない。結論として、中国人も日本人も、依頼をする時に、婉曲な表現を使うそう。